



0より大きい数を 正の数 という。

正の符号 + をつけて表すことがある。

0より小さい数を 負の数 という。

負の符号 - をつけて表す。

※0は正の数でも負の数でもない。

- 次の数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

① 0より3大きい数

+ 3

② 0より2小さい数

- 2

③ 0より $\frac{1}{2}$ 小さい数

\_\_\_\_\_

④ 0より2.5小さい数

\_\_\_\_\_

⑤ 0より $\frac{3}{4}$ 大きい数

\_\_\_\_\_





0より大きい数を 正の数 という。

正の符号 + をつけて表すことがある。

0より小さい数を 負の数 という。

負の符号 - をつけて表す。

※0は正の数でも負の数でもない。

- 次の数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

① 0より3大きい数

+ 3

② 0より2小さい数

- 2

③ 0より $\frac{1}{2}$ 小さい数

-  $\frac{1}{2}$

④ 0より2.5小さい数

- 2.5

⑤ 0より $\frac{3}{4}$ 大きい数

+  $\frac{3}{4}$

